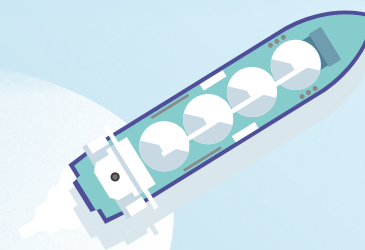

SECTION

02 | “K” LINEグループのマテリアリティ



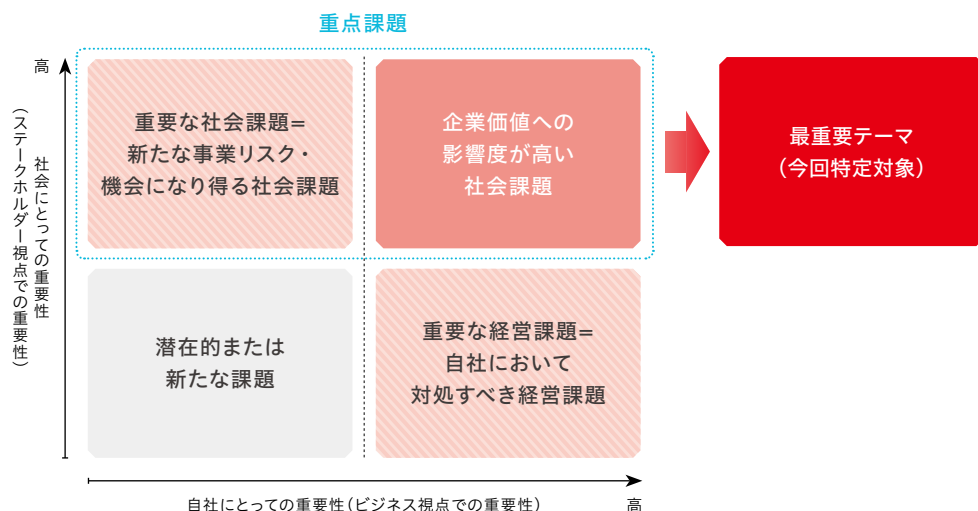
マテリアリティ

2022年度に当社グループは従来のマテリアリティを見直し、新たに5分野、12項目のマテリアリティを特定しました。このパートでは、マテリアリティ特定のプロセスについてご説明するとともに、新たに特定したマテリアリティの全体像をご紹介します。

マテリアリティ特定のプロセス

マテリアリティ特定のプロセス

マテリアリティの特定に際しては、ISO26000やOECD多国籍企業行動指針など、主としてCSR(企業の社会的責任)に関連する各種ガイダンスを参考に、SDGsなどで掲げられる社会課題を考慮しつつ、事業戦略との整合性や価値創造の観点なども加味して、「自社にとっての重要性」(ビジネス視点での重要性)と「社会にとっての重要性」(ステークホルダー視点での重要性)という2軸から、マテリアリティの分析・評価を行いました。



マテリアリティ分析のステップ

以下の3つのステップでマテリアリティ分析を行いました。

STEP 1

社会課題リスト の作成

- SDGsなどを中心に社会課題をリストアップ(社会課題のロングリスト作成：全115項目)
- 自社事業との関連性ならびに海運業界に特有の社会課題を加味して社会課題の絞り込みを実施(社会課題のショートリスト作成：全50項目)

STEP 2

社会課題の評価 (自社にとっての重要性評価、 社会にとっての重要性評価)

- STEP1で絞り込まれた全50項目の社会課題に対して、以下の観点でその重要性評価を実施
 - 自社にとっての重要性
各社会課題について、リスクと機会の観点から自社の企業価値への影響度を評価。当社グループ役職員へのアンケートも実施し、当社グループが優先的に対処すべき社会課題について意見を聴取
 - 社会にとっての重要性
各社会課題について、当社グループにとって重要なステークホルダー(顧客、投資家、従業員、地域社会、国際社会)に与える影響度を、それぞれのステークホルダーの立場に立脚して分析

STEP 3

マテリアリティの特定

- STEP2において、自社、ステークホルダーそれぞれに対して重要性の高い項目を、自社の企業価値への影響度が高い社会課題と位置付け、さらにこれらを「社会課題解決へのアクション」として全12項目に集約し、マテリアリティ案を作成
- 外部有識者と当社経営陣によるダイアログを実施し、マテリアリティ案について意見交換
- ダイアログを踏まえて最終化されたマテリアリティ案を、サステナビリティ経営推進委員会で討議し、経営会議で決裁の上、取締役会に報告

実施内容

マテリアリティと関連するSDGs

12項目のマテリアリティは、中期経営計画で事業戦略を実現する強固な事業基盤として打ち出された機能戦略の4本柱である「安全・品質」「環境・技術」「デジタルイノベーション推進」「人材」と、それらの土台としての「経営基盤」の5分野に分類して整理されています。当社グループにとってのマテリアリティは、中期経営計画に基づいて持続的成長や企業価値向上を果たしつつ、社会課題の解決にも貢献し、企業理念・ビジョンを実現するために取り組むべき重要課題と位置付けられます。

それぞれのマテリアリティについての考え方や取り組みにつきましては、この「ESGデータブック」の各テーマに関するページでご説明しています。

分類	社会課題解決へのアクション=マテリアリティ	関連するSDGs
経営基盤	人権の尊重 (P.63)	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 豊かになり 経済成長も 10 社会の格差を なくそう
	コーポレートガバナンスの強化 (P.77)	16 平和と公正な 社会を築こう 17 目標を 実現しよう
	コンプライアンスの推進・強化 (P.95)	16 平和と公正な 社会を築こう
安全・品質	安全運航の推進 (P.58)	7 再生可能エネルギーに 移行しよう 13 気候変動に 適応しよう 14 海の豊かさ を守ろう
環境・技術	自社の低炭素化・脱炭素化 (P.31)	7 再生可能エネルギーに 移行しよう 9 産業と資源効率 を高めよう 11 持続可能な 都市づくり 12 つくばる資源 を大切にしよう 13 気候変動に 適応しよう 17 目標を 実現しよう
	社会の低炭素化・脱炭素化支援 (P.33)	7 再生可能エネルギーに 移行しよう 9 産業と資源効率 を高めよう 11 持続可能な 都市づくり 13 気候変動に 適応しよう 17 目標を 実現しよう
	自社からの海洋・大気への環境影響の限りないゼロ化 (P.36)	3 気候変動に 適応しよう 11 持続可能な 都市づくり 12 つくばる資源 を大切にしよう 14 海の豊かさ を守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう 17 目標を 実現しよう
	イノベーションの促進 (P.13)	7 再生可能エネルギーに 移行しよう 9 産業と資源効率 を高めよう 11 持続可能な 都市づくり 12 つくばる資源 を大切にしよう 13 気候変動に 適応しよう 14 海の豊かさ を守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう 17 目標を 実現しよう
デジタルイノベーション推進	DX対応の強化 (P.98)	7 再生可能エネルギーに 移行しよう 8 豊かになり 経済成長も 9 産業と資源効率 を高めよう 12 つくばる資源 を大切にしよう 13 気候変動に 適応しよう 14 海の豊かさ を守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう 17 目標を 実現しよう
人材	ダイバーシティ&インクルージョンの促進 (P.56)	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 豊かになり 経済成長も 10 社会の格差を なくそう
	労働環境の整備・健康経営の促進 (P.44)	3 気候変動に 適応しよう 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 豊かになり 経済成長も 10 社会の格差を なくそう
	人材の確保・育成 (P.51)	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 豊かになり 経済成長も

マテリアリティと企業理念・ビジョン・中期経営計画との関係

当社グループにとってのマテリアリティは、中期経営計画に基づいて企業理念やビジョンを実現し、持続的成長や企業価値向上を果たしつつ、社会課題の解決にも貢献する、いわば当社グループと社会・環境、双方のサステナビリティを両立させるために取り組むべき重要課題、と位置付けられます。

